

道南

ま  
ら  
ネ  
ッ  
ト

# 福島町広報、議会だよりも録音

【福島】町は今月から町議会だより（年4回発行）の内容をテープに録音し、希望者への貸し出しを始めた。ことし4月からの町広報誌（毎月発行）に続き、視覚障害者や高齢者など文字を読むことが困難な町民に、行政サービスの向上を図る。

広報誌で録音作業ボランティアを募集。録音作業は、和田紀子さん、村田美代江さん、住吉満江さん、滝川明子さんの町民有志4人と町職員で試行錯誤を繰り返しながら進めてきた。

当初は、有志の自宅でラジオカセットを使用して録音に取り組んだが、機械音や家電などの生活音が入るため、聞きづらく、さらに品質の

良い録音方法を探した。

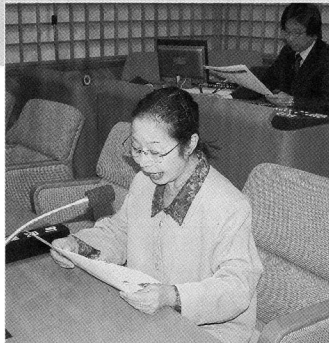
録音場所を町福祉センターに移したが、雑音やダビングの劣化などの課題が残ったという。高音質の録音方法を探していたところ、町議会議場（役場内）に議事録をとる専用機器があることに気付き、協力を得た。

録音は広報誌が全戸に配布され始める毎月上旬に実施。作業時間は約2時間半で、一文字一句丁寧に大きな声で読み上げる。

町は「利用者には『とても聞きやすい』と喜んでもらってます。有志の町民に感謝しています」と話している。

（田中陽介）

## 視覚障害者や 高齢者サービス



録音専用機器がある町議会議場内で行われる録音作業